

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 太陽の家	代表者	松井 富美子	法人・事業所の特徴	住み慣れた地域で営み続けた生活の継続支援のため、「通い・泊まり・訪問」のすべてのサービスにおいて、こまめな、目くばり・気くばり・心くばりを心掛け、安心して過ごしていただけるよう、日々のケアに取り組んでいる。
事業所名	伊勢太陽の家	管理者	松井 富美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	人	1人	人	1人	10人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	※事業所自己評価票を参照の事	※事業所自己評価票を参照の事	・来所及び泊りサービスの利用者に対する身体介護は職員各位が、概ね統一的に実施できていると思う ・地域資源の理解や外部研修の受講等広い視野からの知識、資質向上も必要。	・地域資源や福祉・介護等制度に関し、勉強会等を通じ理解を深める。
B. 事業所のしつらえ・環境	遮光カーテン・防災カーテン等に注意し、防音・遮音に気をつかい、利用者様に合った環境づくりをしたい。	日差しが強い季節を迎える中、天候に応じて、リビングのカーテンをこまめに開閉するなど、環境調整に努めている。また、防災カーテン等については、消防法に適合した物を設置している。	・事業所の門戸を常に開いているのは良策である。	利用者の方々が、より快適に、居心地良く過ごしていただけるよう、防音・遮音・防臭・プライバシーの確保等、職員の一層のこまめな気遣いにより、環境保持に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	地域との関わりはある程度出来ていると思うので、今後は地域の方や家族から相談を受けることが出来る事を地域にアピールしてはどうか。	事業所主催のイベント時等に合わせ、介護相談・手続きの代行も行えるようご案内させていただく。	・所在地域にとけ込む姿勢が評価できる。 ・自治会に加入し、地域のイベントに参加された様子について、運営推進会議にて、報告がなされている。	・自治会への加入を基とし、地域の活動、イベントへの参加等に関わりがなされている。介護事業所として、介護相談や手続き代行等、事業所の役割をこまめに案内してゆきたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の方で困っている人についての相談があった際には、積極的にかかわるようにする。	地域密着の福祉介護事業所であることから、相談を受けた際には、積極的に関わり、介護・福祉等制度の案内、手続きの代行も行う。ひいては、相談者に最も適切なサービス機関へ取次ぐ。支援が円滑に行えるよう、事業所内で各種ケアパス的連携の仕組み等職員の勉強会も取り入れている。	・気を遣いすぎるとはならず、冷静に対応できれば良いのでは。 ・独居高齢者などは、制度の仕組み等も知らずに閉鎖的である場合が多い。外部から積極的に関わり、日常生活の負担の軽減など対応を要するケースも現実に生じていると思われる。	地域の介護拠点として、介護に関する相談への対応、制度の説明や手続きの代行等に引き続き積極的に関わってゆく。また、冷静・客観的な視点を養うべく、制度や仕組みの理解等、事業所内における勉強会を通じ、職員相互の資質向上にも努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の役員さん方は多忙なため、推進会議としての参加は出来なくても、色々な立場の方から意見を集約していきたい。	会議開催に当たっては、地域の役員の方々をはじめ、介護保険事業所、サービス利用者、行政機関の方々に参加いただいている。今後も地域の様々な立場の方々から意見を賜り事業所運営に活かしてゆく。	・運営推進会議の定期的な開催に取り組んでほしい。また、意見が出やすい環境にて、後に意見に対する改善報告がなされるといった循環が、更に質の高い会議へと進展するのではないかな。	定期的な会議開催に努めると共に、出席者からの事業所に対する意見や、地域福祉の状況等、多くの有意義な情報を集約することにより、より質の高い事業所運営に活かせるよう努める。
F. 事業所の防災・災害対策	避難訓練に城田中学校までの計画を取り入れスタッフの経験を重ねておく。	・地域の防災訓練の際には、職員及び利用者が訓練に参加している。(昨年度は城田中学校で行われた) ・風水害についても、事業所の避難確保計画が作成なされている。	・地域に根差した防災対策は講じられていると思う。 ・地域で実施される防災訓練等に継続して参加されたい。	・地域の防災訓練に継続して参加する。 ・事業所独自の避難訓練、消火訓練等を定期的の実施し、職員の意識向上を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 林・松井(幸)・南田・山川・西・長岡・仲野
松井・吉田・山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	4人	0人	10人

前回の改善計画	<p>①全体会議を有意義に短時間で行うことが出来るよう、日時・内容・進め方において検討してゆく。 ②ケアプランに対しての評価を行い、出来ている事、出来ていない事を職員全員が共有する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>①全体会議を、予め職員全員が参加可能な日時にて設定し、協議内容等周知しておくことで、スムーズに議事の進行及び情報共有が出来ている。 ②ケアプランに基づく利用者支援を職員全員が統一的に実践できるよう、全体会議や朝の業務引継ぎの際など、随時、情報共有を行っている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	2	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	8	2	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	9	1	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	8	2	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント内容、インテーク面接時の情報を、利用の開始前に職員間のミーティングを通して、情報共有している。又、利用者に状態変化等が見られた際は、支援方法の変更等含め検討を行い、家族とも随時相談しながら支援を行っている。 ・利用者との積極的なコミュニケーションを心掛けている。また、利用者の生活歴や嗜好を十分に把握すべく情報収集・共有を行い、利用者との関係づくりに努めている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者により快適に生活していただく為、介助現場における、技術・対応力の向上を図りたい。 ・支援の際、日常生活動作に関する介助に主眼をおいてしまいがちであるが、本人の心理面に対する支援(不安に思っている事や要望・目標等を汲み取る)をきめ細かに実践してゆきたい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人一人の介助技術、対応力の向上。 ・認知症症状の利用者への対応について、症状に合わせた支援の方法、コミュニケーション能力の向上。 ・利用者本人及び家族の、生活上における不安・要望を的確に汲み取り、早期解消に向けた職員間の情報共有、連携の強化。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 林・松井(幸)・南田・山川・西・長岡・仲野
松井・吉田・山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	3人	0人	10人

前回の改善計画	利用者一人一人の「～したい」を大切に、時間がない場面にも、時間をつくる工夫をそれぞれ職員が行い、声かけ、会話等で利用者の目標を確認したり、励ましながら介護を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	食後の休憩時間やレクリエーション活動時など、利用者との会話が比較的膨らむ機会に、利用者本人の趣味や嗜好及び生活歴の把握に努めている。

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	5	4	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	6	2	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	6	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	4	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン等の内容を現場職員が確認できるよう、控え書類の設置場所を確保し、利用者本人の目標の確認を随時行っている。 ・利用者の些細な状態の変化についても、職員間にて即時的に情報共有及び対応策の検討を行い、全体会議等で支援の方向性を改めて確認するようにしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・重度に認知症が進行した利用者等に関しては、どうしても日常生活動作に対する支援が主軸となる、又、会話についても日常的な内容のやりとりに終始するなど、自己実現の把握には至っていないケースがみられる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・日々の割り当てられた入浴介助や送迎等の必須的な支援がどうしても優先されてしまう現状にある。余裕を持った職員配置も困難な中ではあるが、職員各自が平時の利用者との会話の内容等においても、要望や目標を聞き取れるような質の高い技術を、研修・勉強会等を通じて養いたい。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

3. 日常生活の支援

メンバー 林・松井(幸)・南田・山川・西・長岡・仲野
松井・吉田・山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	2人	1人	10人

前回の改善計画

①本人の状況に合わせた適切なケアを行うためには、利用者本人との信頼関係が前提になるので、挨拶、タイミングの良い声かけなどで、信頼関係の構築を図る。
②介護技術の向上を目指し、勉強会を行ってゆく。

前回の改善計画に対する取組み結果

①基本的な挨拶を欠かさずに実行する。又、利用者個々の状態に応じたきめ細やかな介助、行動に対する声掛け、サポートをこまめに実施できるよう努めている。今後も継続することにより、より強固な信頼関係の構築を図るべく取り組む。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	0	11	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	3	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	4	4	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	4	1	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	4	3	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 基本的な日常生活動作に関する支援方法について、職員間で概ね統一化がなされている。
※食事形態・排泄介助の方法・利用者個々の一日の生活スタイルに関する支援等。
- 利用者の状態変化に気づいた際の職員間の情報共有について、申し送りシートへの記載等通じ、実施出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 利用者に対する支援方法は統一化されているものの、現場における技術的対応力においては、職員間に差が生じている。
- 介護記録の記録方法について、上記同様に職員間において、使用する単語・表現方法等異なる部分が生じている。
- 高度な認知症利用者等の声にならない声の理解については、より質の高い理解する技術が課題である。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 利用者介助においては、勉強会・研修会の機会を設け、職員全員の技術的対応力の向上を図る。
- 介護記録の記載方法についても上記に同じである。
- 利用者の声にならない声の理解について、よりの確な理解に近づけるよう、職員個々の‘気づき’や想像力を意見として遺憾なく出し合い、総括できる環境を整える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 林・松井(幸)・南田・山川・西・長岡・仲野
松井・吉田・山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	3人	2人	10人

前回の改善計画
利用者について、これまでの生活歴や人間関係を含め、施設以外での環境を知ることが出来るよう、各利用者について計画を立てて、ミーティングを通じて情報共有してゆく。

前回の改善計画に対する取組み結果
訪問及び通い利用者については、身体状況、家庭環境及び地域における生活状況・活動等に関し、定期的な面談時等に聴取された内容を、全体会議時に職員間で情報共有している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	4	3	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	6	3	1	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	4	5	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	1	5	2	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・利用者本人の生活歴、家族構成等、情報を職員各自が理解できている。又、心身機能の状態、居住環境等について、訪問や通院付き添いを行った際の情報を、随時、職員間にて共有するようにしている。
 ・利用者の居住する地域の民生委員等に、本人の身体状況、サービス利用状況等定期的に報告するなど、地域資源とのつながりを図っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・利用者の家庭環境や家族構成、及び身体状況等だけでなく、今後も自宅において生活を継続してゆく上で、地域内における本人の立場、地域住民との共助関係、又、利用可能な地域資源を含めて理解しておくことが今後の課題であると思われる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・利用者の心身の状態把握や家庭環境のみならず、本人と地域との関係性、地域資源の理解等に視野を拡大し、得られた情報を職員間において情報共有することにより、地域での生活継続を多角的にサポートできるよう足がかりとする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 林・松井(幸)・南田・山川・西・長岡・仲野
松井・吉田・山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	3人	1人	10人

前回の改善計画

①記録の書き方を再度検討する機会を設ける。
②リーダーがチェックするなどして、申し送りの徹底を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

①介護記録等記載方法については、事業所内における勉強会の機会などに職員間で意見交換を行い、統一化を図っている。
②毎朝の定刻時に職員が参集し、夜間の申し送り及び当日の予定を確認することになっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	3	6	1	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	2	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	5	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	5	0	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・事業所が地域の一組織員として、自治会に加入している。地域にて実施される、祭りや防災訓練など、イベント時には、準備や当日のスタッフとして加わっている。加えて、事業所にて実施する秋祭りなどのイベント時には、地域の住民に会場してもらうなど、地域とのつながりが出来ている。
- ・利用者本人の希望を念頭に置き、心身機能、家族の介護力、家庭環境を考慮したサービスの提供が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・規模的な面や、限られた職員数でサービスを提供していることなどから、ハード面において、必ずしも利用者及び家族の希望を受け入れる事が出来ないケースが生じることもある。(福祉車両の利用時間の重複による送迎時間の変更等)その際は、本人や家族に事情を説明し、理解を得るように努めている。
- ・地域内における事業所の認知度合いについては、更なる向上を図りたい。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・地域行事等への参画を今後もこまめに継続し、地域からの更なる認知度向上に努める。
- ・事業所を取り巻く地域について、職員がより深く理解することにより、活用できる資源の模索に努め、事業所と地域資源とを含めた、利用者の多角的なサポートにつなげたい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

6. 連携・協働

メンバー 林・松井(幸)・南田・山川・西・長岡・仲野
松井・吉田・山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	3人	1人	10人

前回の改善計画	全体会議やミーティングにおいて、小規模多機能施設における、他サービス機関や地域機関との連携・協働の必要性を勉強する。
前回の改善計画に対する取組み結果	全体会議(勉強会)のテーマの一つとして、地域との連携を取り上げ、実施した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	3	5	2	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	5	3	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	3	2	3	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	4	3	2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用を開始する際等、担当者会議に福祉用具貸与事業者等に加わってもらうようにしている。 ・自治体等主催の連絡会議や地域ケア会議に随時出席している。 ・事業所として自治会に加入しており、地域で開催されるイベント時には、スタッフとして加わっている。 ・当事業所にて開催されるイベント時には、地域住民にも案内し、来場してもらっている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自治体で実施される連絡会や研修会等においては、限られた職員が出席することから、職員全員が地域のサービス拠点、資源、活動を十分に理解するまでには至っていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域や自治体で実施された会議等の内容を、出席者から職員に随時周知することにより、職員各々が内容を理解し、地域におけるサービスの拠点や活動内容を情報共有する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

7. 運営

メンバー 林・松井(幸)・南田・山川・西・長岡・仲野
松井・吉田・山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	0人	0人	10人

前回の改善計画
今までどおり、意見・苦情等は記録し、即時、検討・改善を行ってゆく。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者及び家族からのご意見・苦情等については、事業所において即時情報共有し、対応するようにしている。記録については、適切に行われるよう、様式及び記載要領を改めて職員各々が理解に努める。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	6	1	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	5	0	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	4	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	3	4	1	2	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・自治会の一員として、総会、各種連絡会議等に参加し、自治会活動、奉仕作業ほか参加している。
・地域の防災訓練、夏祭り等地域行事においては、職員が準備も含め、スタッフとして加わっている。
また、外出可能な利用者に限り、イベント当日に参加・観覧をしている。
・運営推進会議において、出席者から出された意見は、事業所運営に活かすことが出来るよう協議し、具体化に努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・自治会、地域の交流行事への参加に関して、外出が困難な状態にある利用者の参加は困難な環境にある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・地域に必要とされる介護の拠点となるべく、各種地域活動に職員各々が積極的に参加をする。又、地域の方が高齢者介護に関する相談や事業所見学に気軽に来所してもらえよう雰囲気づくりを検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 林・松井(幸)・南田・山川・西・長岡・仲野
松井・吉田・山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	6人	2人	10人

前回の改善計画	研修・勉強会を職場内で行ってゆく。(パート職員)
前回の改善計画に対する取組み結果	研修・勉強会については、毎月、テーマを決めて職場内で実施しており、職種等関連性に応じてパート職員も参加するようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	3	4	1	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	2	4	10
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	0	8	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	6	4	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること <ul style="list-style-type: none"> ・職場内における勉強会を年間計画を立てた上で、毎月1回程度実施している。 ・地域(市内)のサービス事業者連絡会に、毎回参加し、情報収集に努めている。 ・日々の些細な利用者の変化にも目を配るようにし、職員間で情報共有及び、対策の実践に努めている。 ・季節的な感染症等対策を行い、リスク回避に努めている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること <ul style="list-style-type: none"> ・職場以外にて実施されている研修会については、業務が多忙であること等の理由から、参加する機会の確保が困難な状況にある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) <ul style="list-style-type: none"> ・職場外の研修会へ参加機会の確保に努める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

9. 人権・プライバシー

メンバー 林・松井(幸)・南田・山川・西・長岡・仲野
松井・吉田・山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	1人	0人	10人

前回の改善計画

①スタッフ同士で言動を注意し合う。
②利用者の人権・プライバシーについて話し合う機会を設ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用者の尊厳が適切に守られるよう、声掛け等の言葉遣いについて、スタッフがお互いに確認し合える環境となっている。
- ・介護現場における接遇、コミュニケーションスキルの向上について、職場内勉強会を計画している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	1	0	0	10
②	虐待は行われていない	9	1	0	0	10
③	プライバシーが守られている	4	3	3	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	—	—	—	—	—
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	4	3	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・身体拘束及び虐待については、行われていない。又、虐待に関する勉強会を実施している。
- ・排泄、入浴及び更衣等を介助する際など、プライバシーが十分に確保されるよう、個室空間にて行う環境となっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者の介護記録について、利用者の日々の生活空間（ダイニングの机上）に放置されているケースがみられる。
- ・利用者本人が聞こえる環境において、繊細な内容の引き継ぎを行っているなど、配慮の意識に欠ける部分がみられる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・介護記録等プライバシーが記載されている書類については、他の利用者、部外者の目につかないよう、記載後の収納を常に心掛けること。
- ・利用者の認知症の有無に関わらず、プライバシーに関わる引継ぎの環境等、十分に配慮すること。

